

日本アジア投資株式会社
2026年3月期 第3四半期
決算補足資料

決算発表日:2026年2月13日

1. 総括	P3
2. 当四半期の実績	P4
3. 中期経営計画の進捗状況	P6
4. トピックス	P10
5. 業績予想	P13
6. 参考情報	P15

本資料内の業績数値は全て従来連結基準にて表示しております。

当四半期累計実績

- ✓ 大型のプロジェクトの売却益がなく、前年同期比で悪化
- ✓ 上場株式の売却益を計上した一方で、引当金の繰入が発生
- ✓ 投資先上場企業の株価が上昇し含み益が増加

中計の進捗

- ✓ 投資開発事業(プロジェクト投資):
外部環境悪化に伴い、AUM増加の目標追及から採算性重視へ切替
- ✓ 投資運用事業(株式投資):
企画中ファンドのAUMは見込以上だが、組成時期が来期にずれ込みAUM増加実績は見込から下振れ

トピックス

- ✓ 2025年11月～ 増資・新株予約権行使により資金を調達
- ✓ 2026年1月 KICホールディングスのM&Aを実施

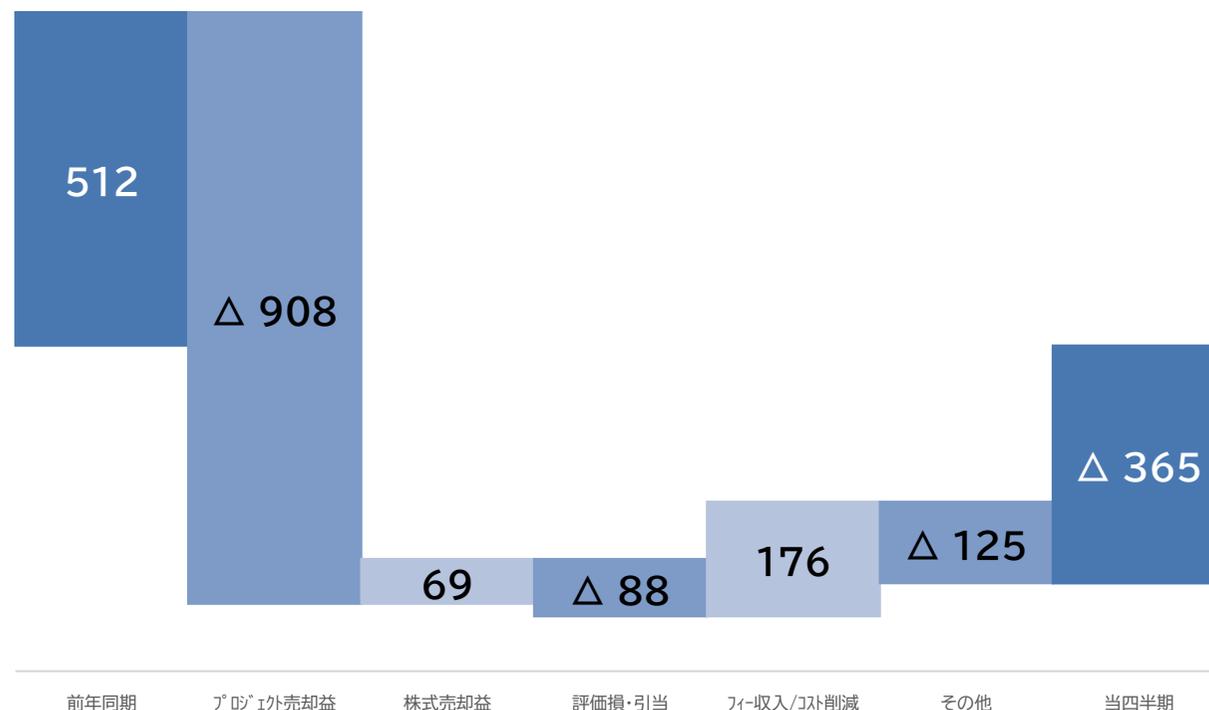
通期業績見込

- ✓ 期初見込を下方修正、営業収益22.5～14.0億円、
親会社株主に帰属する当期純利益+1.5～△2.0億円を見込む
- ✓ プロジェクトや未上場株式の売却不調を反映
- ✓ 期初予算外の上場株式売却により、修正見込の上限を目指す

2. 当四半期の実績－ハイライト P/L

(単位:百万円)	2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	増減率
営業収益	1,875	↓ 643	△65.7%
営業原価	758	302	△60.1%
営業総利益	1,117	340	△69.5%
販管費	767	↓ 684	△10.8%
営業利益	349	△344	-
経常利益	543	△397	-
親会社株主に帰属 する四半期純利益	512	↓ △365	-

親会社株主に帰属する四半期純利益の増減要因



✓ 減収・赤字要因:

- 利益を伴う大型のプロジェクト売却が無く、減収・赤字計上（前年同期は合計21件の売却が寄与）
- 上場株式の売却益が増加の一方、引当金の繰入も増加
- ファンドの増加や成功報酬によりフィー収入は増加、役員報酬を始めとした販管費削減も実施

2. 当四半期の実績－ハイライト B/S

(単位:百万円)	2025年3月期末	2026年3月期 第3四半期末	増減率	主な増減要因(単位:億円)
総資産	10,693	10,184	△4.8%	
うち 現預金	3,292	 2,108	△36.0%	回収+10、投融資実行△12、増資+3、返済△8、費用△4
うち 投資開発事業 (引当後 プロジェクト投資 (営業投資有価証券・貸付金))	4,088	4,152	1.6%	投資実行+7、 分配・売却・回収△6
うち 投資運用事業 (引当後 プライベートエクイティ投資 (営業投資有価証券))	2,856	 3,083	7.9%	投資実行+3、含み益+3、 投資有価証券へ振替△2 分配・売却・回収△2
借入金	3,495	 2,644	△24.4%	返済△8
自己資本	6,907	 7,183	4.0%	増資+3、利益△3.6、 含み益+3

- ✓ 現預金 :投資実行・借入金の返済により減少
- ✓ 投資資産:投資運用事業で、投資先上場企業の株価上昇による含み益が増加
- ✓ 借入金 :計画に基づき返済を実施
- ✓ 自己資本:増資や含み益の増加が、損失による減少を補う

3.中期経営計画の進捗状況

－資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

現状分析

PBRが1倍を下回る状態が継続 → 要因は投資利益率の低さと資産回転率の低さ

決算年月	2019/3月	2020/3月	2021/3月	2022/3月	2023/3月	2024/3月
PBR(倍)	0.41	0.36	0.53	0.41	0.53	0.68
ROE(%)	8.7	4.9	0.5	0.3	赤字	赤字
PER(倍)	5.9	9.1	142.3	200.9	赤字	赤字
ROA(%)	2.00	1.20	0.13	0.09	赤字	赤字

目指す姿

PBRの改善に向けて → 資本コスト(約13.4%)並みのROEを実現

- ① 安定収益の拡大 (フィー収入で固定費をカバーし黒字化定着→資本コストの低減)
- ② 収益性の改善 (長期滞留資産を早期に回収し資産を入れ替え→資産の回転率の改善&アセットアロケーション・事業ポートフォリオの見直し→収益性の改善)
- ③ リファイナンスの実現と財務レバレッジの改善
- ④ IR活動のアップデート

計画・目標

重要な成果指標(KPI)

	2027/3月期
投資開発事業 運用資産規模(AUM)増加額	150億円
投資運用事業 運用資産規模(AUM)増加額	300億円
ファンド・プラットフォーム事業 受託資産規模(AUA)残高	4000億円

重要な目標指標 (KGI)

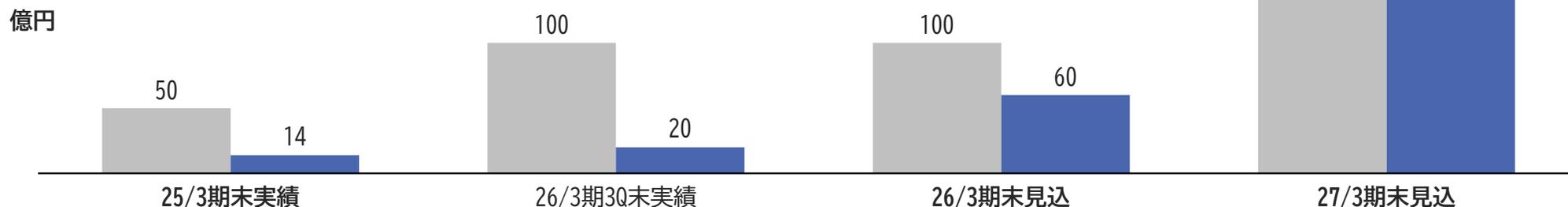
	24/3月期	27/3月期	目指す姿
安定収益	2億円	8億円	10.8億円
ROE	赤字	12.7%	資本コスト 13.4%以上
親会社株主に帰属 する当期純利益	△16億円	10億円	黒字化の定着 一時収益の増加

3.中期経営計画の進捗状況－KPIの進捗状況

①投資開発事業

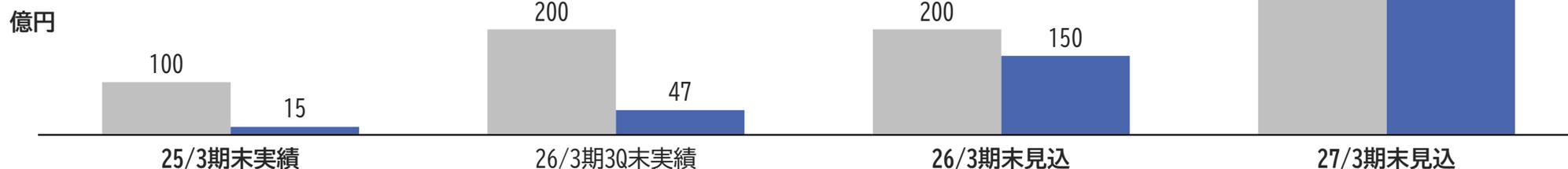
運用資産規模（AUM）新規獲得分のみ残高目標

■ 中期経営計画
■ 実績・見込



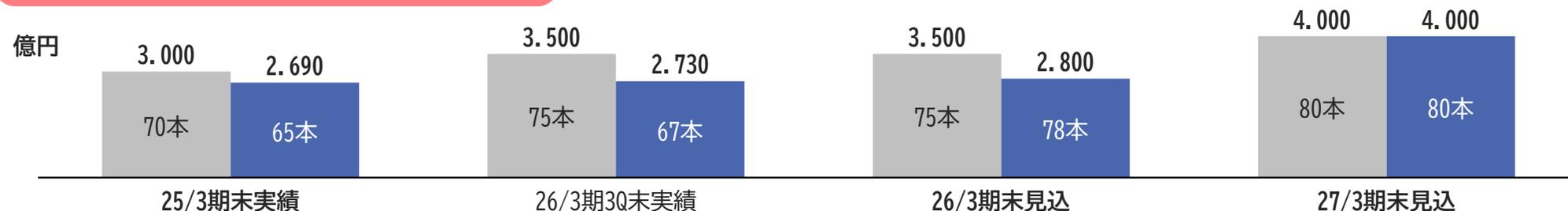
②投資運用事業

運用資産規模（AUM）新規獲得分のみ残高目標



③ファンド・プラットフォーム事業

受託資産規模（AUA）期末残高目標



- ✓ 投資開発事業:外部環境悪化(インフレ・金利上昇)に伴い、見込までの増額を優先せずに採算性で案件を選別
- ✓ 投資運用事業:企画中ファンドのAUMは見込を超えるものの組成時期が来期にずれ込み、見込から下振れ
- ✓ ファンド・プラットフォーム事業:ファンド満期に伴いAUA残高・ファンド数は見込み通り推移、採算性も向上

3.中期経営計画の進捗状況－AUM増加額の内訳

ファンド名称	設立日	うち 期中増加額	ファンド総額	主な投資対象等
JAICパートナーズファンド	2024年6月		179百万円	当社と共同で事業シナジー創出に取り組む国内の上場及び未上場企業
JAICスペシャルティファンド	2025年1月	452百万円	612百万円	国内のお土産品業界、小売業界、観光業界において、事業成長と地方創生の好循環に取り組む上場企業等
JAICサプライチェーンファンド	2025年1月		830百万円	製造業におけるサプライチェーン関連の上場企業
JAIC-Web3ファンド	2025年2月	65百万円	465百万円	Web3(NFT 等)関連の国内上場企業
JAIC クリプトアセット株式ファンド	2025年7月	2,480百万円	2,480百万円	クリプトアセット(暗号資産)関連企業
JAIC-DLE アニメ IP ファンド	2025年7月 ※1	201百万円	201百万円	主に、日本国内のアニメ IP やアニメ IP を利用したコンテンツを投資対象としたファンド
合計		3,198百万円	4,767百万円	

※1:出資履行は2025年10月

※2:2025年10月に設立したONE-JAPAN 観光ファンドは、出資未履行のため上記表に含めていない。

- ✓ 新設ファンドから上場企業7社に投資実行
当社による業務提携を通じた事業支援、投資先企業同士の協業も拡大
- ✓ 当社自己資金からも2社への新株予約権投資
資金効率の高い投資手法による収益機会の確保



ブランディングテクノロジー(株)
(東証グロース:7067)



株式会社タカチホ
(東証スタンダード・名証メイン:8225)



株式会社イオレ
(東証グロース:2334)



nms ホールディングス(株)
(東証スタンダード:2162)



(株)W TOKYO
(東証グロース:9159)



(株)ディー・エル・イー
(東証スタンダード:3686)



(株)ベストワンドットコム
(東証グロース:6577)

4.トピックス－第三者割当増資について

2025年10月決議時 資金調達予定額 総額37.4億円^(※1)

普通株式		新株予約権(行使価額固定型)		新株予約権(行使価額修正型)	
調達額	252百万円	調達予定額	994百万円 ^(※2)	調達予定額	2,507百万円 ^(※3)
株価	252円	行使価額	252円	行使価額	当初行使価額252円 ^(※4)
株式数	1,000千株	株式数	4,000千株	株式数	10,000千株
—	—	行使期間	2025/11/11~ 2027/11/10	行使期間	2025/11/11~ 2027/5/11

※1、2 調達予定額は、行使価額固定型新株予約権の全てが行使されると仮定した数値です

※1、3 調達予定額は、行使価額修正型新株予約権の全てが、当初行使価額で行使されると仮定した数値です

※4 行使価額が修正されるため、調達予定額は変動します

2025年12月末 資金調達実績 総額3.3億円

2025年11月払込完了

行使進捗率 0%

行使進捗率 3.72%

普通株式		新株予約権(行使価額固定型)		新株予約権(行使価額修正型)	
調達額	252百万円	調達額	0百万円	調達額	79.2百万円
株価	252円	行使価額	252円	行使価額	平均 210円
発行株式数	1,000千株	発行株式数	-株	発行株式数	372千株
—	—	行使期間	2025/11/11~ 2027/11/10	行使期間	2025/11/11~ 2027/5/11

4.トピックス－第三者割当増資について

<本ファイナンスの目的・意義>

安定収益の拡大により黒字化を定着させるとともに、更なる企業価値向上に向けた取り組みを行います

◆ 連続的な成長に向けて → KPIの着実な達成とAUMの更なる拡大

中期経営計画・目標	重要な成果指標 (KPI)		重要な目標指標 (KGI)		
		2027/3月期		27/3月期	目指す姿
	投資開発事業 運用資産規模(AUM)増加額	150億円	安定収益	8億円	10.8億円
	投資運用事業 運用資産規模(AUM)増加額	300億円	ROE	12.7%	資本コスト 13.4%以上
	ファンド・プラットフォーム事業 受託資産規模(AUA)残高	4000億円	親会社株主に帰属 する当期純利益	10億円	黒字化の定着 一時収益の増加

更なる企業価値向上

◆ 非連続的な成長に向けて → 新たにM&A戦略への取り組みを実施
(M&A対象企業)

➤ 各種ライセンス保有企業
➤ 事業パイプライン保有企業 → 新たな事業機会と収益機会の創出

KICホールディングスの子会社化を決定

物流施設やデータセンターの開発を手掛け
傘下にアセット・マネジメント会社を保有する企業の子会社化



KICホールディングス 会社概要（2026年1月時点）

名称	KIC ホールディングス株式会社
所在地	東京都千代田区神田錦町三丁目19番
代表者	代表取締役会長 峯田 勝之、代表取締役社長 土田 匡人
事業内容	持株会社、不動産開発事業、プリンシパル投資事業
設立	2018年6月20日
株主構成	峯田 勝之 10.8%、株式会社ケーエム 29.2%、当社 60.0%
主なグループ会社 と保有ライセンス	KICアセット・マネジメント株式会社(KIC ホールディングスの100%子会社) 保有ライセンス:金融商品取引業、第二種金融商品取引業、投資助言・代理業、投資運用業、不動産投資顧問業、宅地建物取引業

5. 業績予想－通期業績予想の詳細

単位:百万円	2025年3月期 通期 実績	2026年3月期 第3四半期 実績	2026年3月期 通期見込 (2025年5月 開示)	修正通期見込 上限 (2026年2 月開示)	修正通期見込 下限 (2026年2 月開示)	修正率 上限	修正率 下限	進捗率 上限	進捗率 下限
営業収益	2,150	643	2,450	2,250	1,400	△8.2%	△42.9%	28.6%	46.0%
営業利益	273	△344	500	50	△300	△90.0%	-	-	-
経常利益	438	△397	460	0	△350	△100.0%	-	-	-
親会社株主に帰属する 四半期/当期純利益	399	△365	450	150	△200	△66.7%	-	-	-

- ✓ 下方修正:営業収益 22.5～14.0億円、親会社株主に帰属する当期純利益+1.5～△2.0億円
- ✓ 大型の未上場株式の売却が、投資先企業の業績成長の下振れに伴い来期にずれ込む
- ✓ 外部環境の悪化(インフレ・金利上昇)に伴うプロジェクト売却の不調(延期、売却数減、価格下振れ)を反映
- ✓ 見込上限:期初予算外の上場株式を追加売却して黒字を目指す
- ✓ 利益率低下要因:純利益計上のプロジェクト売却を、売却高/売却原価を総額計上する株式売却で補うため
- ✓ 見込下限:今後、未上場株式の売却・追加する上場株式の売却が計画通り実現しない場合

- ✓ 業績予想につきましては、当社グループが展開するプライベートエクイティ投資はその事業特性上株式市場等の変動要因による影響が極めて大きく、加えて昨今の変動の激しい環境下においては合理的な業績予想が困難なため、当社は業績予想を行っておりません。
- ✓ しかしながら、投資家及び株主の皆さまの利便に資するべく、業績予想に代えて、ある一定の前提を元に策定した「従来連結基準による見込値」を、数値の確度は低いものの、参考情報として開示しております。
- ✓ なお、当該「従来連結基準による見込値」をはじめとする本資料に掲載されている全ての将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報及び一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の数値は様々な要因により記述されている内容とは大きく異なる可能性があります。

投資活動の状況(事例紹介)	P16
再生可能エネルギープロジェクト一覧	P19
プロジェクト投資 案件一覧	P20
営業収益・営業原価 内訳	P24
主要データの推移	P25
営業収益・営業原価 内訳推移	P26
事業領域	P27
JAICの強み	P28
サステナビリティへの取り組み	P29
会社概要	P30

投資活動の状況(事例紹介) 事業承継ファンドの活動状況

サクセッション1号 概要

名称	サクセッション 1 号投資事業有限責任組合
ファンド総額	30 億円
設立	2017 年 6 月
無限責任組合員	AJ キャピタル株式会社
有限責任組合員 (五十音順)	あおぞら銀行、愛媛銀行、FPG、きらやか銀行、東和銀行、鳥取銀行、富山銀行、日本アジア投資、北都銀行、宮崎太陽銀行、ゆうちょ銀行、他金融法人
主な投資対象	日本国内の事業承継問題を抱える中小企業

- ✓ (株)かがやき総合保険企画(愛媛県四国中央市)を BSP フィナンシャルホールディングス(株)へ承継
地域トップクラスの優良保険代理店であるかがやき社を、富裕層へのファミリーオフィス業務を提供するBSP社へ承継し、双方の更なる顧客基盤の拡大につなげる
- ✓ 株式会社特研工業(鳥取県米子市)を現経営陣へ承継(MBO)
公共土木工事、公共・民間建築工事の外構工事等を手掛ける地域中核企業の特研工業社を、“経営陣自らがオーナーシップを持ち、企業の独立性を高めながら今後の成長を加速させたい”という経営陣の意向により、独立性・持続的成長を支えるマネジメント・バイアウトにより承継

サクセッション2号 概要

名称	サクセッション 2 号投資事業有限責任組合
ファンド総額	51.01 億円
設立	2022 年 8 月
無限責任組合員	AJ キャピタル株式会社
有限責任組合員 (五十音順)	あおぞら銀行、阿波銀行、池田泉州銀行、愛媛銀行、鹿児島銀行、岐阜商工信用組合、京葉銀行、荘内銀行、東和銀行、鳥取銀行、富山銀行、日本アジア投資、福井銀行、北都銀行、ゆうちょ銀行
主な投資対象	日本国内の事業承継問題を抱える中小企業

- ✓ (株)アイパック(神奈川県川崎市)へ事業承継投資実行
TESLA認定ボディーショップ運営や自動車用機械工具輸入販売を営む(株)アイパックの事業と経営を承継
これまでの経営の理念と経営スタイルを尊重しつつ、事業基盤の強化、営業拠点の拡充、人材育成を重点テーマとして支援を行う
- ✓ スマイル調剤薬局グループ(徳島県徳島市)へ事業承継投資実行
徳島県を地盤とする調剤薬局グループの事業と経営を承継(株)阿波銀行の投資専門子会社である阿波銀キャピタル(株)の運営するファンドと共同でスマイル調剤薬局グループの全株式を取得

ONE-JAPAN 観光ファンドの設立

HIS、ZUU子会社と共に国内未上場企業向け観光ファンドを設立



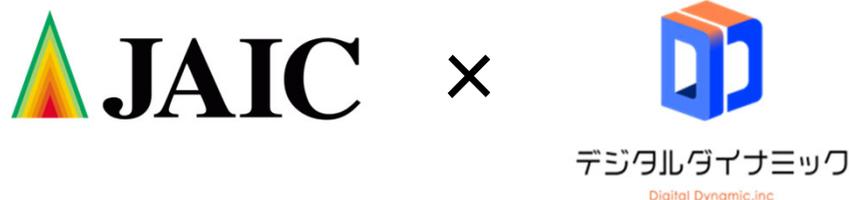
日本経済をけん引する観光産業の持続的成長を支援

ファンド概要

ファンド名称	ONE-JAPAN観光ファンド投資事業有限責任組合
所在地	東京都千代田区
ファンド設立	2025年10月(出資履行は未了)
無限責任組合員	日本アジア投資株式会社、株式会社エイチ・アイ・エス、ZUU Funders株式会社
ファンド総額	1,000百万円(2026年3月末 募集期間完了時点 目標額)
主な投資対象	観光関連の国内未上場企業(含むスタートアップ)

福島県における分散型AIデータセンター事業

関連会社 JAIC データダイナミクスによる福島県双葉町における
分散型 AI データセンター事業(※1)が支援事業に採択



採択事業の概要

所在地	福島県双葉町
受電規模	2MW(メガワット)
施設規模	最大100台規模(※2)のサーバーを配置可能
サーバー台数	NVIDIA 製 B200 を搭載した高性能サーバー32 台を整備
事業内容	GPU ホスティング事業およびコロケーション事業
総事業費	30 億円規模(想定)

(※1)デジタルダイナミック株式会社が2025年7月に開始した事業。国内の東京圏および大阪圏に集中するAIデータセンターを地方へ分散配置し、AIの社会実装に不可欠な低レイテンシなデータ処理環境を全国に整備するとともに、災害へのレジリエンス強化、都市部における電力負荷の分散を目指すもの。

(※2)JAIC-DD社においてNVIDIA製 B200の公表スペックに基づき、当該GPU及びその他消費電力量を一定の前提により試算し、台数を算定したもの。

再生可能エネルギープロジェクト一覧 (2025年12月末)



メガソーラープロジェクト

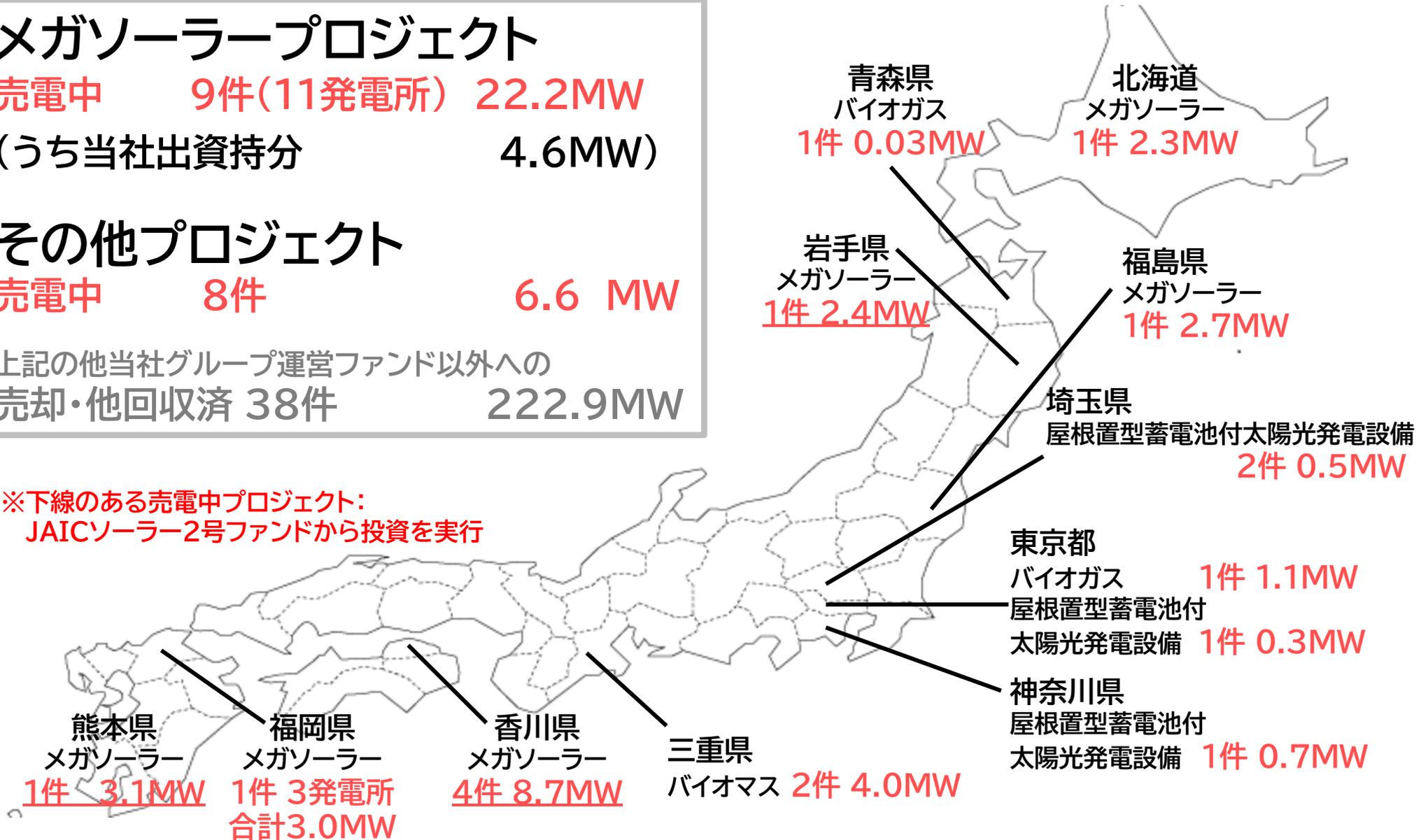
売電中 9件(11発電所) 22.2MW
 (うち当社出資持分 4.6MW)

その他プロジェクト

売電中 8件 6.6 MW

上記の他当社グループ運営ファンド以外への
 売却・他回収済 38件 222.9MW

※下線のある売電中プロジェクト:
 JAICソーラー2号ファンドから投資を実行



※各プロジェクトに対する当社の出資比率はプロジェクト毎に異なるため、当社の投資額や当社に帰属する売電収益の金額は、必ずしもプロジェクトのMW数に連動しておりません。

プロジェクト投資 案件一覧-1 (2025年12月末)



プロジェクト種類		発電所名/所在地	発電容量 (MW)	プロジェクト進捗状況	FIT (税抜、円)
メガソーラー発電	1	熊本県球磨郡錦町(※)	3.1	売電中 (2015年12月売電開始)	40
	2	野間池ソーラー発電所(※)	2.4	売電中 (2017年5月売電開始)	36
	3	御田神辺池ソーラー発電所(※)	1.5	売電中 (2017年9月売電開始)	32
	4	岩手一関ソーラーパーク(※)	2.4	売電中 (2018年1月売電開始)	36
	5	中王田池ソーラー発電所(※)	2.4	売電中 (2018年4月売電開始)	36
	6	東王田池ソーラー発電所(※)	2.4	売電中 (2018年7月売電開始)	36
	7	広野ソーラーパーク	2.7	売電中 (2020年2月売電開始)	40
	8	厚岸ルークシュポール太陽光発電所	2.3	売電中 (2020年5月売電開始)	40
	9	うきは市しらかべ太陽光発電所、 うきは市みずのさと太陽光発電所、 うきは市みのうアルプス太陽光発電所	合計3.0	売電中 (2020年3月～5月売電開始)	36
合計 22.2MW (うち当社出資持分 4.6 MW)					

※:JAICソーラー2号投資事業有限責任組合から投資しているプロジェクト。

プロジェクト投資 案件一覧-2 (2025年12月末)

プロジェクト種類		所在地	発電容量 (MW)	プロジェクト進捗状況	FIT(税抜、円)
屋根置型蓄電池付太陽光発電設備	1	埼玉県越谷市	0.2	売電中(2022年12月売電開始)	—
	2	埼玉県日高市	0.3	売電中(2023年2月売電開始)	—
	3	神奈川県厚木市	0.7	売電中(2023年2月売電開始)	—
	4	東京都あきる野市	0.3	売電中(2024年4月売電開始)	—
バイオマス発電	1	三重県松阪市	2.0	売電中(2018年1月売電開始)	—
	2	三重県松阪市	2.0	売電中(2025年3月売電開始)	—
バイオガス発電	1	東京都羽村市	1.1	売電中(2021年3月売電開始)	39
	2			バイオガスを生成する食品リサイクル会社 (バイオガス発電所オペレーター)	—
	3	青森県上北郡東北町	0.03	売電中(2018年11月売電開始)	39

プロジェクト投資 案件一覧-3 (2025年12月末)



プロジェクト種類		所在地	規模	プロジェクト進捗状況
障がい者グループホーム	1	福島県いわき市	入居者用20~21室、短期入所用2~3室	営業中(2023年8月営業開始)
	2	熊本県熊本市	同上	営業中(2024年3月営業開始)
	3	熊本県八代市	同上	営業中(2023年12月営業開始)
	4	鹿児島県霧島市	同上	営業中(2025年3月営業開始)
	5	佐賀県佐賀市諸富町	同上	営業中(2024年5月営業開始)
	6	福岡県朝倉市	同上	営業中(2024年5月営業開始)
	7	大分県大分市	同上	営業中(2025年7月営業開始)
	8	福岡県直方市	同上	営業中(2024年11月営業開始)
	9	宮崎県宮崎市	同上	営業中(2025年9月営業開始)
	10	福岡県久留米市	同上	営業中(2024年11月営業開始)
	11	佐賀県小城市	同上	営業中(2025年1月営業開始)
	12	長崎県大村市	同上	営業中(2024年11月営業開始)
	13	熊本県山鹿市	同上	営業中(2024年12月営業開始)
	14	宮崎県都城市	同上	営業中(2025年1月営業開始)
	15	鹿児島県薩摩川内市	同上	営業準備中(2026年2月営業開始)
	16	茨城県竜ヶ崎市	同上	営業準備中(2026年3月営業開始予定)
	17	福岡県北九州市門司区	同上	営業準備中(2025年5月営業開始)
	18	熊本県上益城郡	同上	営業中(2025年7月営業開始)
	19	福岡県中間市	同上	営業中(2025年10月営業開始)
	20	宮城県仙台市	同上	企画中
	21	福岡県糸島市	同上	営業準備中(2026年1月営業開始)

プロジェクト投資 案件一覧-4 (2025年12月末)

プロジェクト種類		所在地	規模	プロジェクト進捗状況
植物工場		兵庫県丹波篠山市	年間生産量 合計約470t	1号工場 2019年3月稼働 2号工場 2022年8月全面稼働
物流施設	1	埼玉県春日部市	延床面積 18,158㎡(予定)、地上4階建	2025年2月竣工
	2	非公開	非公開	企画中

プロジェクト種類		所在地	内容	プロジェクト進捗状況
その他	1	神奈川県藤沢市	元工場をリノベーションした創作活動向けシェア施設	営業中(2023年4月営業開始)
	2	—	電動アシスト自転車のサブスクリプションプロジェクト	2022年8月初回投資実行
	3	非公開	非公開	非公開
	4	東京都港区虎ノ門	樹木葬プロジェクト 光円寺「芝愛宕の森™」	営業中(2023年5月開園・販売開始)
	5	京都府京都市	樹木葬プロジェクト 海宝寺「伏見桃山の森」	営業中(2023年11月開園・販売開始)

営業収益・営業原価 内訳

(単位:百万円)	合計		投資開発事業		投資運用事業		ファンド・プラットフォーム事業	
	2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期
営業収益	1,875	643	1,516	↓ 85	244	↑ 429	115	↑ 128
管理運営報酬等	117	213	2	2	23	↑ 104	91	106
営業投資有価証券売却高	919	303	722	↓ 4	197	↑ 298	-	-
組合持分利益・インカムゲイン等	769	69	758	↓ 55	10	14	-	-
その他営業収益	69	56	32	22	13	11	23	22
営業原価	758	302	612	40	146	261	-	-
営業投資有価証券売却原価	635	157	513	↓ 2	122	154	-	-
営業投資有価証券評価損・ 投資損失引当金繰入額	19	108	0	13	19	94	-	-
組合持分損失等	88	24	83	12	4	12	-	-
その他営業原価	15	12	15	12	-	-	-	-
営業総利益	1,117	340	904	↓ 44	98	↑ 167	115	↑ 128

✓ 投資開発事業:減収・減益:

- 営業収益(売却高、組合持分利益・インカムゲイン等):大型のプロジェクト売却益が無く減少

✓ 投資運用事業:増収・増益

- 営業収益(管理運営報酬等):新規に組成したファンドからの報酬が増加、成功報酬も発生
- 営業収益(売却高):上場株式の売却が進捗

主要データの推移



(単位:百万円)	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	25年3月期 第3四半期	26年3月期 第3四半期
業績							
営業収益	3,089	2,409	3,017	964	2,150	1,875	643
営業総利益	1,301	1,276	961	△427	1,160	1,117	340
販売費及び一般管理費	1,086	1,189	1,147	1,094	886	767	684
営業利益	214	86	△185	△1,522	273	349	△344
経常利益	173	61	△224	△1,569	438	543	△397
親会社株主に帰属する当期純利益	144	49	△269	△1,574	399	512	△365
財務状況							
現預金	3,699	2,740	2,464	1,750	3,292	3,469	2,108
引当後 営業投資有価証券・貸付金(プロジェクト投資)	5,583	6,781	6,053	5,248	4,088	4,126	4,152
引当後 営業投資有価証券(プライベートエクイティ投資)	4,267	4,812	4,083	3,003	2,856	2,870	3,083
借入金	6,950	5,943	5,142	4,314	3,495	3,495	2,644
自己資本	7,338	7,779	7,518	5,633	6,907	6,983	7,183
総資産	14,657	14,972	13,413	10,438	10,693	10,813	10,184

(単位:百万円)	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	25年3月期 第3四半期	26年3月期 第3四半期
ファンド設立・増加額	151	1,001	3,701	1,400	1,569	51	3,198
ファンド運用残高 ※	16,450	16,463	15,850	15,497	14,130	12,612	17,328
うち 当社グループ出資額 ※	5,434	4,953	3,389	2,428	1,707	1,547	2,212

※ 投資資産を保有した状態で清算期間に入るファンドが増加したため、2021年3月期より、清算期間中のファンドを含めています。

営業収益・営業原価 内訳推移



(単位:百万円)	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	25年3月期 第3四半期	26年3月期 第3四半期
投資開発事業(プロジェクト投資)							
アセット・マネジメント報酬(管理運営報酬等、その他営業収益)(a)	11	11	9	12	24	21	12
プロジェクト運用利益(組合持分利益・インカム・イン等、その他営業収益)(b)	55	△15	20	29	25	20	17
プロジェクト運用損失(組合持分損失等、その他営業原価)(c)	110	141	386	281	137	98	24
プロジェクト運用損益(b-c)	△54	△156	△366	△251	△111	△78	△7
売却高(営業投資有価証券売却高、組合持分利益・インカム・イン等)(d)	1,351	1,150	887	272	1,552	1,474	55
売却原価(e)	587	509	90	262	513	513	2
評価損・引当(f)	-	-	75	-	88	0	13
プロジェクト投資 キャピタルゲイン(d-e-f)	763	640	722	10	951	961	39
営業収益 小計(a+b+d)	1,418	1,145	917	314	1,603	1,516	85
営業原価 小計(c+e+f)	697	650	552	543	738	612	40
営業総利益 小計	720	495	365	△229	864	904	44
投資運用事業(プライベートエクイティ投資)							
アセット・マネジメント報酬(管理運営報酬等、その他営業収益)(g)	62	40	17	49	48	36	100
成功報酬(管理運営報酬等)(h)	-	-	-	10	-	-	15
売却高(営業投資有価証券売却高、組合持分利益・インカム・イン等)(i)	1,469	1,078	1,943	442	340	207	313
売却原価(営業投資有価証券売却原価、組合持分損失等)(j)	896	337	1,274	203	212	127	167
評価損・引当(k)	194	145	229	645	39	19	94
プライベートエクイティ投資 キャピタルゲイン&インカムゲイン(i-j-k)	378	595	439	△405	89	61	51
営業収益 小計(g+h+i)	1,532	1,119	1,960	502	388	244	429
営業原価 小計(j+k)	1,090	483	1,503	848	251	146	261
営業総利益 小計	441	636	457	△346	137	98	167
ファンド・プラットフォーム事業							
事務受託報酬(管理運営報酬等、その他営業収益)	138	144	139	147	158	115	128
総計							
営業収益	3,089	2,409	3,017	964	2,150	1,875	643
営業原価	1,788	1,133	2,056	1,392	990	758	302
営業総利益	1,301	1,276	961	△427	1,160	1,117	340



①投資開発事業

- ファンドの組成や融資による調達資金で設備を保有するSPC（特別目的会社）に対して投資を行い、設備を建設した後、設備を運営または売却する投資事業です。
- インフレや景気の動向に影響を受けにくい特性を持ったプライベートな実物資産に投資をします。主な投資対象は、エネルギー（再エネ発電所、蓄電所）、インフラ（物流施設）、ヘルスケア（障がい者グループホーム）等です。

③ファンド・プラットフォーム事業

ファンド・プラットフォーム事業
 ファンド・アドミニストレーターとして長年の実績を有するジャイク事務サービス㈱が、ファンド運営のミドル・バック業務のサービスを提供します。

②投資運用事業

- 企業の発行する有価証券を対象とする投資事業です。
- 当社の強みを活かしてファンドを組成し、伝統的運用資産である上場株式・上場債券を対象としたバイアウト投資やPIPEsなどを行うほか、非伝統的（オルタナティブ）運用資産である未上場企業へのベンチャー投資やバイアウト投資を行います。

JAICの強み

投資候補となる企業やプロジェクトの発掘を通じて、専門性の高い、業界の最先端の動向を把握

最先端の
業界情報収集力

アジアでの歴史

1981年に経済同友会を母体に設立されて以来、35年に亘り日本とアジアの経済交流に貢献し、アジアでの高い知名度を有する

JAIC

ファイナンス
スキーム構築力

ベンチャー企業との
ネットワーク

- ・ 国内外で300社超の上場実績を有し、これまでの投資活動を通じて、多数のベンチャー企業と親密な関係を構築
- ・ そのネットワークを、投資先企業の支援や、当社が新規事業テーマを開拓する際のアライアンスに活用

- ・ 国内外で3,600億円の累計投資実績
- ・ プロジェクト投資事業では、当社からの投資資金だけでなく、プロジェクトファイナンスなどの融資資金も交えた調達スキームを構築

サステナビリティへの取り組み

長期ビジョン

経営理念

「日本とアジアをつなぐ投資会社として少子高齢化が進む社会に安心・安全で質と生産性の高い未来を創ります」

サステナビリティへの取り組み

SDGs投資会社であることをコアバリューとし、経営理念に基づく投資活動を徹底することで持続可能な社会の実現に向けた取り組みを行う

マテリアリティ

Environment

- ◆ 投資を通じた環境負荷軽減と気候変動問題への取り組み
- ◆ 循環型社会に向けてイノベーションに取り組むベンチャー企業を支援

Social

- ◆ 投資を通じた少子高齢化問題の課題解決・包摂的な社会構築への取り組み
- ◆ プロジェクトを通じた地域金融機関と連携による地域社会・地域経済の発展への貢献
- ◆ 人権の尊重と多様性の確保による働きがいのある職場環境の整備

Governance

- ◆ 健全な組織基盤の構築
- ◆ コンプライアンスの徹底
- ◆ リスク管理体制と情報セキュリティの強化
- ◆ 適切な情報開示とステークホルダーとの適切な対話の推進

投資領域

社会の課題を解決する投資会社として

ヘルスケア
(高齢者、障がい者施設)



ディストリビューション
センター (物流施設)



プライベート
エクイティ投資



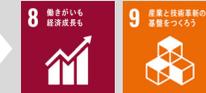
スマートアグリ
(植物工場)



再生可能エネルギー



ファンド管理



会社概要(2025年12月末現在)



会社名	日本アジア投資株式会社(略称)JAIC	
本社所在地	東京都千代田区九段北3丁目2番4号	
設立年月日	1981年7月10日	
資本金	265百万円	
株式上場市場	東京証券取引所 スタンダード市場(証券コード:8518)	
従業員数	単体21名/連結33名	
事業領域	投資運用事業、投資開発事業、ファンド・プラットフォーム事業	
役員	代表取締役 社長執行役員CEO	丸山 俊
	取締役 常務執行役員CFO	岸本 謙司
	取締役 監査等委員長	橋 徳人
	取締役 監査等委員(独立社外取締役)	澁谷 功
	取締役 監査等委員(独立社外取締役)	丸山 千名美

- ✓ この資料（以下「本資料」といいます。）は、日本アジア投資株式会社（以下「JAIC」といいます。）の連結決算情報についての情報提供のみを目的としており、有価証券の取得その他の投資勧誘をするものではありません。
- ✓ 本資料に記載された将来に関する事項は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、今後予告なしに変更されることがあります。本資料に含まれる意見や予測などについては、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご留意下さい。
- ✓ 本資料に含まれる情報は全て、JAICが著作権その他一切の権利を有しており、JAICの許可無く複製したり転用することは禁じられております。
- ✓ 本資料内の業績数値は全て従来連結基準にて表示しております。



<https://www.jaic-vc.co.jp>

お問合せ先: 経営管理グループ IR担当

ir@jaic-vc.co.jp